

## 第6号

# まなべル まなぼう



### < 目次 >

知って得する暮らしのマナー講演 ( P 2 )  
高麗川中学校 ( 埼玉県日高市 ) の卒業講演 ( P 3 )  
料亭和食のマナー講座にて ( P 4 )  
賛助会員様インタビュー企画 ( 第 2 回 )  
サンルートプラザ東京様 ( P 5 )  
ニューヨーク Littleマダムだより ( P 7 )  
機内の江戸仕草 ( P 8 )  
五つの本能 ( P 9 )

向山 邦子 田中 昌子  
田中 ゆり子  
松尾 祐子

吉村 景美 岸田 輝美  
鐘ヶ江 美和子  
田口 和司  
香月 泰

【コラム】夏バテ防止～梅のシロップづけ～ ( P 2 )  
世界のマナーエピソード～食事の音～ ( P 3 )  
事業部活動報告 ( P 1 0 )  
活動報告及び予定 ( P 1 1 )  
賛助会員様紹介、運営体制、お問い合わせ ( P 1 2 )

広報部 大徳 はるみ  
広報部 古関 裕美 松井 憲子  
各事業部長  
事務局  
事務局

## 知って得する暮らしのマナー講演

認定講師 向山 邦子 田中 昌子



千葉市にある花見川団地で毎年行う行事があり、「今回はいつもと違った催し物を行いたい!」とのことで、私どもマナー教育サポート協会の講習を選んで下さいました。そのお気持ちに報いたいと、私は、岸田輝美さん、田中昌子さんと何度も打ち合わせを行い、「自分たちの心を明け広げ、団地の皆様の中に飛び込んで、楽しみながら勉強をさせて頂きましょう」との思いで、その日に臨みました。

当日は、参加される団地の皆様も、堅苦しいマナーをどのように聞いたら良いのだろうという様子でした。しかし岸田さんの話しが始まると、皆さんの肩の力も抜けてきたようでした。団地内で人と会ったときに、笑顔で軽く挨拶をするだけでこれからの付き合いにつながるという話には、皆さんが頷いて下さっていました。その後の、箸の使い方での豆拾いゲームやケーキの食べ方の時はワイワイと楽しそうで、とてもよい雰囲気でした。また、座布団の座り方では、膝を痛めている方もいらして大変でしたが、こんな綺麗な所作になるのかと皆様感動してくださり、こちらは大変嬉しくなりました。

その日は、私の姉も参加していたのですが、団地の方々が「これほどに楽しいのならば、また講義を受けてみたい!」とおっしゃっていたとのことです。

子供たちにマナーを伝えたいとおっしゃる役員さんの切なる要望があったのですが、当日は残念ながらご参加になれなかったようです。しかし、次につながるきっかけができたのではと、ほのぼのと嬉しい気持ちのなか三人で喜び合いました。勿論、私自身の反省ですが、さらに精進してよい講義、研修ができるようにしたいと感じました。



## 【コラム】夏バテ防止 ~梅のシロップづけ~

広報部 大徳 はるみ

梅は、“酸っぱ~い”成分のクエン酸があり、疲労回復、老化予防、抗菌・殺菌作用が一杯。

梅 500g      グラニュー糖 400g      水 800cc

梅のヘタをとり洗ってザルにあげる。

水気を切り冷凍庫へ入れて、一昼夜凍らせる。

鍋に水を入れ沸騰したらグラニュー糖を入れ再び沸騰したら梅を入れる。

中火で、アクをとりながら15分位煮る。(グツグツ煮ると皮が破れますので注意)

火を止め、冷めたら冷蔵庫へ入れて冷たくする。

ポイント      梅を一晩以上凍らせることです。凍らせることによって梅が分解されます。

## 高麗川中学校（埼玉県日高市）の卒業講演

事務局長 田中 ゆり子

3月9日に講演をさせて頂くきっかけになりましたのは、昨年10月に埼玉県の中学校における官民共同プロジェクトのモデル校として実施されました東松山市立松山中学校での職場体験事前マナー研修の講演の際に、ご覧下さった高麗川中学校の先生より、良い話だったので卒業講演を頼みたいとのご依頼を頂いたことです。

卒業講演ということで、高校に入学してからのことを考慮し、挨拶と自己紹介に力をいれました。1コマ目はいつもどおり体育館での講演でしたが、久しぶりに中学生らしい中学生に出会った気が致しました。もう卒業間近ということなのか、とても開放的な気分だったようで、陽気・元気の生徒さんたちに、こちらも負けないようにいつもよりテンションを高めて話を致しました。岸田さん曰く、いつもより私の声が高かったそうです。

生徒一人一人が自分を振り返りおもいやりの気持ちがあるということを確認し、マナーは思いやりの表現だということを知ってもらい、社会人としての常識マナークイズや言葉遣いなどを、生徒の反応を見ながら話を致しました。

2コマ目は、教室にて、挨拶や自己紹介などの練習をしながら、友達同士でのチェック、私どもからのチェックを致しました。岸田さんと分担して130名ほど全員を指導することができました。一人一人は結構素直でまじめに取り組んでくれました。どちらでも一番喜ばれるのがコートの上置きです。誰にでもすぐに綺麗に畳めるようになるので聞いたお徳感があるようです。また、研修時、高麗川中学校の先生方には、大変ご協力頂きまして感謝致しております。一人一人に指導していくのは時間に追われるようでもありますが、直接ふれ合うことができ充実感を覚えます。明るく元気な生徒の皆様に出会えることは、この協会の明日への希望へとつながります。

## 世界のマナーエピソード ～食事の音～

広報部 古関 裕美 松井 憲子

国際的な食事のマナーの中では、日本人の麺類や汁物をすする音は少々嫌われ者です。日本人である私たちには、落語に登場するようにお蕎麦をすする音を楽しむという文化があります。また、茶道では音を立てて最後のひと口を吸い切ることが作法とされているほどです。ところが、世界的に見ると日本人以外に音を立てる習慣はほとんどありません。お箸の利用や麺類など、文化的には日本に近いように感じる中国や韓国でも、音を立てるのはタブーとされています。

最近フランス・パリのとある日本食レストランに行った際のこと、欧米人のお客さまの中、友人が一人思い切り音を立てて麺類をすすっていました。近くにいた若者のグループはびっくりした顔で互いに目配せをして笑っていました。皆さんがびっくりしていることを私が伝えても友人は我関せずで「これが日本の文化だから」と音を止めません。周囲のお客さまは迷惑そうに苦笑いをするというより、興味あり気に面白そうに笑っていましたので、幸い日本の文化をご存知の方々だったのかもかもしれません。西洋式など日本食以外のレストランで音を立ててスープや麺類を食べることについては、私たち日本人が最も気をつけなければならないマナーだと思いますが、海外の日本食レストランで日本式に食べることにだけは時には許されるのではと感じた経験でした。とは言え、この日本文化を世界の方々に理解していただくのはなかなか難しいことですので、海外でも日本でもTPOを考え、周囲の方が不愉快にならないよう気を遣いたいところです。

参考文献：「テーブルマナーの基本」財団法人日本ホテル教育センター

# 料亭和食のマナー講座にて

広報部 松尾 祐子

3月18日(日)「壺中庵(松の間)」にて、認定講師及び現在講師養成講座受講中の方を対象に和食のマナー講座が開催されました。

「壺中庵」は、春には桜、夏には涼風、秋には紅葉、冬には雪景と一年を通じて、四季折々の美しさに満ちる八方園の正面に位置し、古くは江戸時代に、天下のご意見番と呼ばれた、大久保彦左衛門が余生を過ごしたと知られる芝白金の台地にあります。大正4年に、現在の日立製作所の基礎を築いた久原房之助様により本格的な日本庭園が作られたのだそうです。会場となりました「松の間」は、銘木をふんだんに使った当時の和風建築の粋を凝らした建物の一室です。

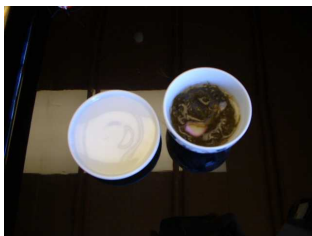


当日は、料理長自ら献立の説明していただき、岩下先生の指導により、本膳料理をいただきました。由緒ある場所で、希少な体験をすることができ、参加者全員、マナーへの思いを新たにしました。2007年春となりました。なお、こちらにて開催できましたのは、会員である高村さんのお蔭によります。本当にありがとうございました。

当日の料理を一部写真掲載いたします。

会席料理順は、箸付 前菜 吸物 造里 煮物 焼物 替鉢 揚物 食事 果物

箸付



前菜



煮物



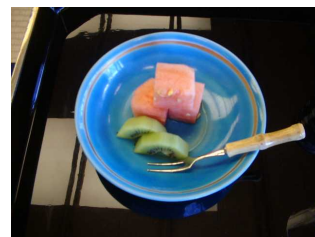
焼物



揚物



果物



## 和食のマナーワンポイントレッスン

一見上品そうに見える手皿はよくありません。懐紙を持参して使いましょう。箸先を濡らすのは5分(1.5センチ)多くて1寸(3センチ)までとされています。食事の順序は、ご飯 汁 ご飯 おかずです。家庭の食事でも、おかずとおかずの間にはご飯を食べることで、味をしっかりと楽しむことができます。

# ☆第2回賛助会員様インタビュー企画☆ サンルートプラザ東京様

取材 吉村 景美 岸田 輝美



私どもの活動主旨に賛同してくださっている賛助企業・団体様について、ご紹介させていただきます。今回は、東京ディズニーリゾート®オフィシャルホテル第1号、サンルートプラザ東京様の総支配人でいらっしゃいます迫様にお話を伺いました。

広報部 これまで2回の夏休み親子テーブルマナーを開催させていただきましたが、心の籠もったご支援を賜りありがとうございます。そして今年も第3回を開催させて頂けるとのことで協会一同感謝しております。

早速ですが、まずは私どもの活動に関してご感想をお尋ねしたいと思います。

迫様 皆様方の活動はとても手間暇のかかる、石の上にも3年、継続は力なりの分野だと思います。夏休みのイベント時のご様子も皆様明るい雰囲気の中で愛情を持ってお客様に接しておられると、私どものサービススタッフからも声が届いております。それから、このようなイベントを通して親子が共通の情報を共有できることは大変良い機会だと思います。共通の話題から親子の信頼関係を築く一助になると思いますから。

広報部 ありがとうございます。なるほど、イベントに親子で参加するということが信頼関係を築けるということですね。私どもも嬉しく思います。さて、最近の子どものマナーや躰に関してお感じになることはどんなことでしょうか。

迫様 このようなテーブルマナーも大切ですが、基本的なこととして、親御さんには、家庭での食事、日常のごく当り前の作法、躰を大切にしていきたいとも願っております。ただ、親御さんもどうやってよいのかを分かっていないようにもお見受けします。昔に比べて我が子を叱る、人の子を叱ることができなくなっていますね。注意をする、叱るということは、子どもにモラルやマナーの心を育てることにあります。

悲しいことに、最近電車に乗ると自分が飲んだ飲料水の空き缶を電車内に放置して電車を降りていく若者を見ます。どういう感覚でいるのだろうかとびっくりします。昔は、家庭や地域で教えてきたモラルや礼儀ですが、教える側がうまく機能していないのであれば、そういう方々への喚起も活動の一環として行って頂ければと思います。

広報部 子どものモラル・躰の醸成は、親御さんにご理解頂くことからですね。確かにそのとおりだと思います。親御さんに気付いて頂ける機会をどう創出していくかは大きな課題です。さて、ホテルにおいても、テーブルマナー講座を開催なさっているとのことですが、食事の仕方やマナーに関する現状などをお聞かせ頂けますでしょうか。

迫様 はい。私どもでもテーブルマナーを開催しておりますが、気になることは、食べ残しが増えたことでしょうか。ビュッフェ形式であっても、取り皿に料理を残しています。ビュッフェは食べられる料理を食べられる分量という、自分で調整できるところが利点です。世界では食べるものもなく貧困に苦しみ、命を失っていることを情報として知ってはいても、現実には勿体無いことをしてしまう。頭では理解していても心では真に感じ取れていないのかもしれないですね。飽食時代の感覚でしょう。私は昭和16年生まれで、戦前戦中ですから、感覚が古いと思われるかもしれませんが、もっとモノを大切にすることを頂けたら嬉しいですね。それから、使った食器を綺麗に洗う、子どもにも洗わせる、布巾で水気を拭いて食器棚にしまうという一連のことを一緒にすることは大切なことです。食器洗い機は便利ですが、まだお持ちでなければ買わないほうがいいですよ



(笑)。手間をかけることは大切なことですから。

広報部

おっしゃるとおりですね。私たちは情報を理解してはいても、真に心で受け止めているのか、受け止めたのならどういう行動をすべきなのか、ということまでできていないかもしれませんね。便利な世の中だからこそ手間暇をかけ、子どもに伝えていくべきことがあるのですね。

それでは、サンルートプラザ東京様のスタッフ教育についてお聞かせ下さい。

迫様

私どもは、当然ながら「常に相手の立場に立ち、心を把握していくこと」を第一としています。つまり、「思いやり、相手を慮る姿勢」です。人間関係でも現代は自分の立場を相手に押し付けることが増えたかもしれません。お客様は十人十色で、確かに一人一人異なるのですが、それでもスタッフには、一人一人異なった対応をしていく、できないのではないかと心配はしても、その努力を最大限する意識を持ってもらっています。お客様から料金を頂くからではなく、原点は「ホテル業を営む人間として」であり、この気持ちを持って接客してもらいたいと考えています。



例えば、私どもでは、積極的に特別支援学校の学生さんたちに宿泊頂いております。スタッフは心から彼らをサポートし、手前味噌で失礼ですが、本当にスタッフはよくやってくれていると思います。私自身の誇りです。学生さんたちは、人間の素直な喜びを表現してくれ、私どももその笑顔や表現が心に沁み嬉しくてたまりません。

清滝様

私どもは、よい意味で相手によって言葉や表現を臨機応変に変えていけるよう心がけています。ひざまずいて制服が汚れても子どもの目線で話をすることは当然のこととして考えていますし、現場にいてもそのことがとても大切なことだと実感します。多少砕けているのではといわれたとしても、私どものポリシーとして誇りを持って行っております。

広報部

私どももマナーは愛、思いやりの気持ちと話をしますが、今後さらに心して活動していかなばとの思いです。最後に、ホテル業、接客を通じてお感じになっていることなどをお聞かせ頂けますでしょうか。

迫様

ホテルの基本は「一期一会」だと考えています。勿論、リピーターになって頂くことも大切ですが、「お客様との一瞬一瞬に悔いを残さない、人間を相手にしている生業であり、毎日がドラマである」との思いで取り組んでいます。当ホテルは年間60万人のお客様がご宿泊頂いております。クレームを頂いたときは、真摯に受け止め対処を心得ておりますが、ITの時代ですね、最近手段として匿名によるインターネットでの通知の傾向があります。しかし、お客様から頂く声を財産としてよりよいサービスに努めたいと思います。最後に、私どもでは様々な年中行事を取り入れ、特にTDLやTDSの“夢の続きをホテルでも”との思いで、お客様に楽しんで頂こうと催しを行っています。今年で4年目になりますが、8月には夏祭り夜店の屋台が並びます。是非、遊びにいらしてください。

取材のご協力いただきましたホテルの方々です。

株式会社プラザサンルート（サンルートプラザ東京）

総支配人 : 迫 秀一郎 様（写真左）

宴会販売課 課長 : 清滝 行宏 様（同 右）

営業企画室 課長 : 三橋 徹 様

同 : 三橋 祐里 様（同中央）



サンルートプラザ東京 <http://www.sunroute-plaza-tokyo.co.jp/>

特に小さいお子様のいるご家庭に人気のあるホテルで、お得な宿泊プランがいっぱいです。

舞浜駅より無料シャトルバスを運行しています。お食事もおいしいので是非お出かけ下さい。

# ニューヨーク☆littleマダムだより(第2号)

会員 ニューヨーク在住 鐘ヶ江 美和子

ニューヨークに住み始めてから1年がたちました。この1年で経験した、日本にはない、または少し違ったイベントを紹介します。

## St. Valentine' s Day 2月14日

日本のように女性から男性へというものではなく、家族や友人にもカードやプレゼントを渡します。小学生などはクラスでバレンタインカードを交換したりもするそうです。一般的には男性が女性をディナーに誘って、ジュエリーや花束(バラが多い)などをプレゼントします。

## St. Patrick' s Day 3月17日

アイルランド系の人たちのお祝いです。アイルランドにキリスト教を広めた守護聖人・セントパトリックの命日です。アイルランドの国花であるシャムロック(クローバー)がシンボルで、この日はクローバーの色である緑を身につけてお祝いします。NYにはアイルランド系の方たちは多くいるため、パレードが盛大に行われます。

## Easter 4月

復活祭ともよばれ、イエスの復活を祝う日です。日付は「春分後の最初の満月から数えて、最初の日曜日」と定められています。家族で集まってご馳走を食べます。エッグハント(卵狩り)という、子供の遊びもあります。イースターエッグと呼ばれる、カラフルに染められたゆで卵を探すゲームです。シンボルとして、卵、うさぎ、イースターリリー(マーガレット)があり、この時期はチョコレート屋や雑貨屋に行くと、これらの形のものがたくさん売られています。

## Halloween 10月31日

万聖節(11月1日)の前夜祭にあたる行事。「万聖節」は、日本ではお盆のようなものです。過去に亡くなった人がこの日によみがえると信じられていました。ハロウィンの仮装は家の周りを徘徊する悪霊を追い払うためにしていたようです。現在では子供達が仮装をして近所を回り「Trick or Treat」と言ってお菓子をもらいにきます。昨年は我が家にも可愛いお化けと海賊がやってきました。夜は街中に仮装した人があふれ、大人もパーティーをして楽しめます。

## Thanksgiving Day 11月

毎年11月の第4土曜日がサンクスギビングデーの祝日とされ、アメリカ人は家族や親しい友人とご馳走を囲みます。この日に併せて全米で繰り広げられる帰省ラッシュに、伝統メニューのご馳走であるターキーのロースト、パンプキンパイなどを作り、どこか日本のお正月を思わせる盛り上がりを見せます。またこの次の日から始まるセールは、どんな赤字のお店でも儲かることからブラック・フライデーと呼ばれています。

## Christmas Day 12月25日

家族で集まり、ご馳走を食べ、クリスマスプレゼントをツリーの下に置いておいて、みなであげます。日本と違って、家族で家の中で過ごすのが定番なので、レストランなどはお休みのところが多いです。NYはクリスチャンではない、いろいろな人種の人がいるため、この時期は「Merry Christmas!」より「Happy Holiday!」と挨拶した方が無難です。NYはユダヤ人も多いため、ユダヤのクリスマスにあたる“ハヌカ”のカードもクリスマスカードと一緒にたくさん売られています。

日本とは違いますが、アメリカにもいろいろな行事やイベントがあって、季節ごとに楽しめます。こちらにいる間は郷に入れば郷に従えで思いっきり楽しみたいと思います。

# 機内の江戸仕草

理事 田口 和司



今年の4月8日、はからずも、和城伊勢さんの「江戸仕草」に係わる出版記念会のお手伝いができることになり、勇んで神田明神迄は行ったものの、いつも言われている5分前の到着も上の空で、本殿参拝だの恵比寿さまの前での写真撮りだの、はしゃぎすぎて定刻ぎりぎり、待ち合わせ場所も分からずウロウロして、時ドロボウになりました。

栃木から新幹線奮発して出かけたものの、手水の使い方・参拝の作法・食事の着座席順・初対面の方との同席・挨拶・弁当の食べ方など、仕草に枚挙に暇がない…嗚呼、疲れた。

初めての体験なので、作法に従っている暇は無いとパパラッチ風にデジカメ片手に動き回り誤魔化したものの、ご一緒したマナー研の淑女はご挨拶も食事も優雅に、何事もないように終始なさっていました…くやしいですねえ。

江戸仕草の本の中に「…諸外国といかに上手に付き合うかということも忘れてはならない日本人の課題でしょう…」という項があって、思い出したことがあります。数年前、岩下先生と「コールセンターの電話対応」の勉強のため当時先進国と言われたアメリカにご一緒したことがありました。ご一行様十数名は格安航空旅客として、すし詰めの相席でしたが、お世話する立場の私は少し離れた中央5席の通路側に席を取りました。反対側2席は欧米人で、隣りは日本男性の二人連れでした。中央の日本人が席を立つ時はやはり同胞の方が通りやすいのでしょうか、私の前を通るとき無言で「手刀」を切って跨いで行き来していました。アテンダントが飲み物や食事のオーダーを聞いても「ビール」「肉」「俺も」…だけで、以心伝心で奥ゆかしい国民性の現れでしょうか、それとも「風呂」「めし」「寝る」の癖がでたのでしょうかねえ。

我々団体には、数名の大和撫子がいました。皆さん豊かな感性に裏打ちされた日本人の優しさと奥ゆかしさを秘めている人たちでしたが、ホテルでもハイヒールの引きずり集団音とエレベータ前での陣取り、同邦人への気配り「ほらほら来たわよ！早く乗っちゃおう」、乗れば他国の方が「Hi!」と言ってきても、皆、無言で目だけぎょろっ、降りれば「あの外人さん…」という。どちらが外人さんだか！（笑） そういう我々男性も「田吾作歩き・ちどりもどき」等、今思えば失礼なことばかりしてしまいました。後で、「謝る英語表現が出来ない…」と先生に言ったら、「いいのよ、日本語でありがとうや、ごめんなさいと言えればいいのだから」とのこと。あらかじめ機内でマナー研修会を受けておくべきでした（笑）。

あるコミュニケーション団体在职中に、先生と知り合うきっかけとなった、応対マナー研修会や電話対応コンクールの開催に携さわっていた頃には、チャンチャラ可笑しい他人ごとだと思っていました。しかし、リタイヤ後は脳の活性化と指先の訓練と称して、英会話・俳句・算命学・調理などに手を出してきましたが、今頃になって、「もっと真面目にマナーを勉強しておけば…、江戸仕草を学ぶ機会を得ていれば…」と、悩んだ挙句、やはり元となるのは日本人としての立ち振る舞いが肝心だと反省しまして、マナーズ研究会に月一回参加させて貰うことにしました。

加えてひょんなご縁から、今回、マナー教育サポート協会の一員に加えて頂くことになりましたが、根っからの付け焼刃人間に何がお手伝いできるのかと、上京の際は新幹線で田吾作歩きしながら思案投げ首の昨今です。

ミッドタウン高見と洒落し桜狩、馬鹿は高いところに登りたがります。おあとがよろしいようで……

## 五つの本能 … 食欲 飲欲 睡眠欲 性欲 集団欲 思いやりの中におくことが大切

副理事長 香月 泰

本能、これは人間の存在をあらしめるための欲望であると言えます。そして、この欲望は、総ての人間に等しく存在するものですが、ひとり一人の個性に左右され、求めるところはひとり一人に固有のものと言えます。また、本能を満たすことは人間の存在をあらしめてくれるものであるため、誰もがまずは自分のためにと行動しがちです。人間の本能には五つ存在しますが、どれ一つ欠けても存在を危うくしてしまいます。

**食欲** これは健体の維持のみならず、脳の活動を支える原動力とも言えるものです。活動するために、体は勿論、大脳も栄養を欲しがっています。機能食品と言われるものは、不足すると精神面の不安定を招きますので、バランスの良い食事が肝要です。また、俗に食い物の恨みは恐ろしいと言いますが、食に飢えると戦争になることさえあります。

**飲欲** これも体にとって不可欠のものです。美味しいビールを飲みたいというのはこれに当たりません。喉が渇き水分を補給したいと感じるとき、体が水分を求めているわけですが、この水分を補給したいという欲望が飲欲です。夏の暑い日に水無しで過ごせばよくわかります。

**睡眠欲** これも健全な身体を維持するためには不可欠なものです。眠気がきても我慢して起きているといつの間にかまぶたが閉じていることがあります。人間は眠らないで過ごすことはできません。何日も徹夜をすれば、脳細胞が破壊され、知的な活動ができなくなります。睡眠は生きるために不可欠のもので、脳の栄養とも言われます。

たまに「うるせえー眠れねえ、静かにしろ」とひと騒ぎあつたりします。テレビやステレオのボリュームをさげ、みんなが静かな眠りにはいれるようころしたいものです。

**性欲** これも大切なものです。種の保存には不可欠なことで、男女間において相手を大切にする現れとしても重要です。

**集団欲** 私たちは一人では生きていけません。自分を理解してくれる家族や仲間は生きるエネルギー源と言えます。学校や職場などでも自分を理解してくれる人がいると苦勞を苦勞と思わないで済むことは多くの人々が体験していることだと思えます。

喜びを分かち合い、苦しみを理解し合う家族や仲間がいない人は寂しさの中で過ごすことになり、精神的な安らぎが得られないのです。集団の中に居ても関わりを持たずひとり存在していることは寂しさに包まれた存在だと言え、いじめなども集団欲を否定する行為と言えます。

自分を理解してくれる人と一緒に暮らせることは幸せなことです。

このように本能を満たすことは生きることの根源として存在するものと言えますが、本能の欲するままに行動すれば、ひとり一人の思い思いの本能同士がぶつかり合うことになり、争いのもとに成りかねません。

みんなが幸せになるためには、本能のコントロール、即ち、本能を思いやりや譲り合いの中に置くことが大切なことだと思えます。

---

## 新刊ご案内

「図解マナー以前の社会人常識」に引き続き、  
岩下書き下ろし第2弾！

「図解マナー以前の社会人の基本」  
(講談社 + 文庫) ¥680 (税込)



# 事業部活動報告

## 【講師養成事業部】

部長 青木 まき子

2期生の修了・講師認定試験を3月に実施し、新たに5人の認定講師が誕生しました。4月からは、3期生が新カリキュラム(月2回)の中級講座に進んでおります。新カリキュラムには、内容の充実をはかるため新しい講座と受講生から要望の多かった実技の時間を増やしましたので、より修得しやすくなりました。

嬉しい事に、今秋(10月)開講予定の第4期講座に5名の方がすでに希望されています。今後も質の高い講師養成講座となるよう進めて参ります。

正会員の皆様からもお知り合いの方へご紹介をいただけますと幸いです。

講師認定合格者(敬称略) 相津美幸 黒須裕代 佐藤元昭 田辺由香里 三浦千賀

## 【研修事業部】

部長 田中 ゆり子

日本サッカー協会様講演に向けた準備のための打ち合わせや、ご依頼頂いた中学校様向け講演準備のために、1ヶ月に1~2回のペースで会議を開きました。常にマナーの本質を基軸とし、どうしてそうするのかを考えてもらい、理由を説明するようにしております。特にサッカー協会の選手の方々には、ゲームを多く取り入れて学習意欲や集中力を高めるようにいたしました。受講後、継続して意識し確実に身に付けてもらうことが大切ですが、それをどのようにすれば良いのが今後の課題となります。今後もこの協会ならではの特徴のある講義内容を目指し常に創造的でありたいと思っております。「聴いて分かり易く・面白く・心に響くように」をモットーに研鑽して参ります。また、そのための講師の研修会を定期的に行っていきます。

## 【事業推進事業部】

部長 岸田 輝美

### 1. 夏休み親子テーブルマナーについてのご案内

7月28日(土)12~14時 ホテルサンルートプラザ東京(JR 舞浜)にて開催!  
子どもの年齢は問いません。参加費は親子1組9,000円(税込)、子ども1人追加+3,500円。  
お申込み・お問合せはホームページ又は事務局までご連絡下さい。

### 2. 職場体験事前マナー教室開催に関する営業活動

多くの中学校で「総合」の教科の時間に集団活動を通して心身の調和や、集団の一員としての自覚を深めることを目標に職場体験を行なっています。学校とは違う集団に入って行く不安を和らげてあげたい、社会のマナーから協力し合う気持ち、思いやりの態度に気づいて欲しいという提案のご案内を各区・各市の中学校にお送りしました。

### 3. 企業様への研修提案

ビジネスマナーの研修・講演などを開催していただける企業様への働きかけを行っています。

## 【経理部】

部長 向山 邦子

NPOマナー教育サポート協会も第4期を迎えております。会員の皆様の思いと、「人は一人では生きられない皆様のおかげで生きることができる」という岩下先生のお教えの下で善意の輪が広がり、収支が成り立って参りました。

これもひとえにNPOを応援してくださる皆様、賛助協賛して下さる企業・団体様、そして会員の皆様の奉仕の心のおかげと経理として嬉しく感謝しております。

このお心に報いるためにも、少しでも早く自立し、夢が開くよう、一丸となって皆様と取り組んで参りたいと思っております。これからもご協力をお願い申し上げます。

# 活動報告及び予定について

## 活動結果報告（第4期上期）

10月21日（土）第4期第1回、理事会、総会開催

子どもを対象にした講演

10月26日（木）～2月15日（木）合計4回 日本サッカー協会様

10月27日（金） 埼玉県東松山市立松山中学校様

1月29日（月） 埼玉県三郷市立彦糸中学校様

3月6日（火） 千葉県成田市立平成小学校様

3月9日（金） 埼玉県日高市立高麗川中学校様

3月30日（金） 徳島県鳴門市第一中学校様

おとなを対象にした講演

10月28日（土）～2月17日（土）合計7回 旭化成株式会社（旭化成ホームズ）様

2月5日（月）～2月28日（水）合計6回 ドコモ・サポート株式会社様

2月3日（土） 千葉市緑が丘中学校おやじの会様

2月18日（日） 花見川団地自治会様

3月31日（土） 三晃商事株式会社様（兵庫県高砂市）

講師養成講座

10月1日（日）～1月21日（日）第3期生初級講座開講 全16講座

9月9日（土）～12月11日（土）第2期生プロフェッショナル講座 全12講座

2月中 特別補講

3月17日（土）初級修了試験、認定講師資格試験

3月18日（日）特別講座「和食のマナー」（港区白金台料亭壺中庵にて）

## 活動予定（第4期下期）

5月26日 第3回認定講師資格授与式

5月27日 花天の会「青葉のつどい」

6月7日 私立昭和女子大学附属昭和小学校様（ご父兄対象講演）

7月28日 第3回夏休み親子のテーブルマナー

9月 メイツ出版社より「親子のマナー本」出版予定（現在執筆中）

財団法人日本サッカー協会アカデミー様、旭化成様には、引き続きご依頼頂いております。

また、この度賛助会員となって頂きました株式会社リコー様からもご依頼を頂きました。

また、和食の接客サービスの人向けのマナーの本の執筆依頼も頂いております。

## 報告!! 事務所移転します!

これまで事務所をお貸しくくださった、株式会社NTTデータコミュニティプロデュース様の移転を機に、当協会も移転することになります。移転先住所は、本会報誌末頁にてご確認のほどお願い致します。なお、コミュニティプロデュース様には、設立時より多くのご支援を賜り、理事長はじめ、理事・会員一同深く感謝申し上げます。また、今後は有限会社ファンデクス様のご支援を頂くことになりました。心より厚く御礼申し上げます。

## 賛助協賛企業・団体様

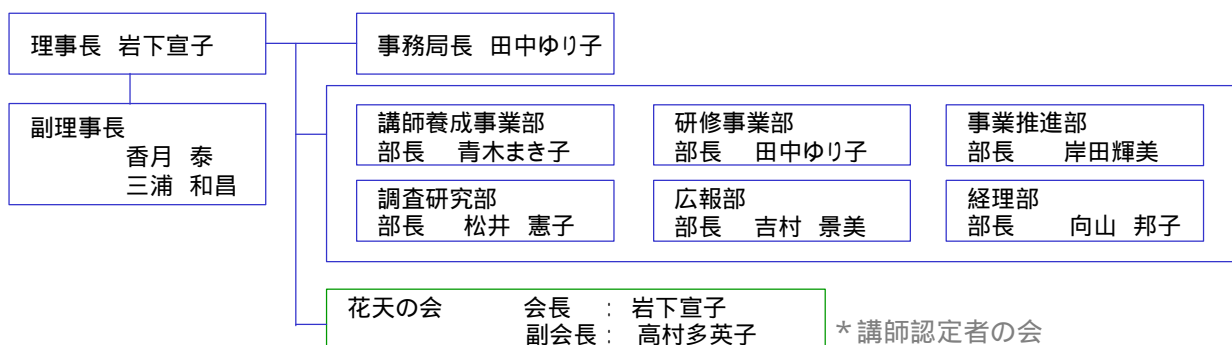
五十音順

NTTコムウェア株式会社 様	( <a href="http://www.nttcom.co.jp/">http://www.nttcom.co.jp/</a> )
株式会社NTTデータ 様	( <a href="http://www.nttdata.co.jp/">http://www.nttdata.co.jp/</a> )
株式会社NTTデータコミュニケーションズ 様	( <a href="http://www.nttdata-cp.co.jp/">http://www.nttdata-cp.co.jp/</a> )
キックマン株式会社 様	( <a href="http://www.kikkoman.co.jp/">http://www.kikkoman.co.jp/</a> )
株式会社協和エクシオ 様	( <a href="http://www.exeo.co.jp/">http://www.exeo.co.jp/</a> )
有限会社グローバルシティ 様	( <a href="http://www.globalcity.co.jp/">http://www.globalcity.co.jp/</a> )
株式会社ケーズワイスports 様	
コムシスホールディングス株式会社 様	( <a href="http://www.comsys-hd.co.jp/">http://www.comsys-hd.co.jp/</a> )
サンルートプラザ東京 様	( <a href="http://www.sunroute-plaza-tokyo.co.jp/">http://www.sunroute-plaza-tokyo.co.jp/</a> )
株式会社GCMコーポレーション 様	( <a href="http://www.gcmco.jp/">http://www.gcmco.jp/</a> )
株式会社スリーライト 様	( <a href="http://www.threelight.co.jp/">http://www.threelight.co.jp/</a> )
学校法人誠真学園小中台幼稚園 様	( <a href="http://www.ans.co.jp/k/konakadai/">http://www.ans.co.jp/k/konakadai/</a> )
大明株式会社 様	( <a href="http://www.daimei.co.jp/">http://www.daimei.co.jp/</a> )
株式会社リコー様	( <a href="http://www.rioh.co.jp/">http://www.rioh.co.jp/</a> )
レストランおまかせ亭 様	( <a href="http://www.omakasety.com/">http://www.omakasety.com/</a> )

## 運営・体制

現行の運営体制は以下のとおりです。(H17.10.1～)

各部における運営に関するお問合せは事務局長又は各事業部長までお願いします。



## 会員ご案内

私たちの活動のために是非ともご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

当協会の活動主旨に賛同し支援して下さる個人の方または法人

年会費 個人 5,000円 法人 1口 10,000円より

## お問合せ



特定非営利活動法人 マナー教育サポート協会

認証番号：15 生都協市特第 1585 号（平成 15 年 11 月 5 日東京都）

所在地：東京都江戸川区中葛西 1 - 3 1 - 3 - 1 1 0 3（御用の際は必ずご予約をお願いします。）

電話 & F A X：03 - 3929 - 6680

メール：info@e-manners.org ホームページ：<http://www.e-manners.org>

2007年5月26日発行（年2回：5月&10月発行予定）発行・編集・制作＝特定非営利活動法人マナー教育サポート協会 広報部

Copyright © 2007 NPO Manners Support Association. All rights reserved.